

実施日：12月2日（3校時）	
領 域：③特別活動	
取組名：「十人十色」（児童会テーマ）	
対 象：全校生	実施場所：教室および各学年フロア
ア ねらい 人それぞれ得意なこと、苦手なことがあって当たり前であることを理解し、人とつながり、互いに認め合う経験を通して、個性を大切にしたい心や相手を思いやる心の育成を図る。	
イ 指導内容（指導略案）や取組の概要 第1次（5月） ・ 児童会テーマを決定する。各学級にテーマ設定の趣旨を投げかけ、募集した後に代表委員会で話し合い、決定する。募集の条件として、武庫小学校のみんながつながれるものであること、認め合える仲間を作るものであることなどを提示する。 第2次（6月） ・ 決定したテーマに基づき、それぞれの委員会が分担してグッズ作成や、周知について考え、全校に広めていく。 第3次（通年） ・ 学校行事や児童会行事等において、テーマを意識した活動に取り組み、日常化を図る。	
ウ 連携先：他学級、他学年、家庭	
エ 連携にむけての取組 ・ 日常の中の児童の頑張りや良い面を見つけ、連絡帳や電話、学校HPなどで保護者へ知らせる。 ・ 各学級の朝の会や終わりの会において、仲間の良さを確かめる時間を設ける。	
オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点 ・ 他者に対して先入観や偏見で見ることの愚かさ気付くように、各担任などの取り組み（特に気になる児童の様子や関わり方の留意点など）を学校全体で共有できるよう、月に一度全体会を開き、確認する。 ・ 校内に「人権の木」を掲示し、学校生活の中での「よさ」を見つけ「人権の実」に記入し貼り付ける。人権だより「心ぽかぽか」に児童が書いた「人権の実」を紹介し、他学級や他学年とのつながりを視覚的に捉えさせる。必要に応じて各学級で振り返るとともに、記述内容に個性を認め合うものが含まれるよう、折に触れ、児童会テーマである「十人十色」を意識させる。 ・ バッジ作成や啓発ポスター、行事の際のあいさつなど、それぞれの学年や委員会に具体的に活動をさせることにより、児童の意識を高める。	
カ 評価の方法 ・ ワークシートの記述 ・ 行動観察及び行事ごとの振り返りや「人権の実」の記述内容	
キ 成果 ・ 行事を通じて「十人十色」を意識することにより、人それぞれ個性があつていいこと、それを認めていくことが大切であることの理解が深まりを見せた。 ・ 校内の掲示物やバッジによって、「十人十色」を意識する環境が整った。 ・ 高学年になると、個々の得意なこと、不得意なことを理解しながら、日々の出来事を大らかに受け止め、受容する場面が増えた。	
ク 課題 ・ 個性を強調するあまり、「あの子は～だから」といった固定観念化につながらないように、物の見方には多様性があることを指導していきたい。 ・ 振り返り活動がまだ十分でない。「人権の実」のフィードバックとともに、振り返りの際に「十人十色」を意識する言葉かけを増やしていく必要がある。 ・ 「十人十色」バッジの活用について、どのような場面で着用させるのか、検討をしていく。	

